

【能楽師 小林晋也 プロフィール】



能楽協会会員，宝生流職分 小林晋也

昭和49年小林家に四代目として生まれる。

五歳より稽古を始め六歳に18世宝生宗家に入門、初舞台を披く。

「加茂」にて初シテ「千歳」「石橋」「道成寺」「乱」を披く。

高校卒業後宗家の内弟子として10年修業後独立。

関東を中心とときに国内，海外各地にての公演に出演する。

また自身の弟子の同門会「晋宝会」市民サークル「能楽を楽しむ会」を主宰し東京，埼玉を中心に子供能楽教室や中高生の部活動，大学サークルや長崎にてもお弟子の御稽古を行う。

市民講座や能楽旅行会，劇団公演への客演、クラブDJや他ジャンルの芸能などとのコラボレーションなど様々な能楽普及活動も行っている。

他に老人ホームに入居の高齢者の方々などに能楽の稽古(動きや歌)による介護予防健康体操なども行っている